



# 学校だより

## 5月

令和4年4月28日

横浜市立芹が谷南小学校

学校Webページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>

### 知ること 知ってもらうこと

校長 大島 恵子

新学期が始まり、一か月が過ぎようとしています。毎日が新しいことの連続で、慌ただしい日々を過ごしているうちに、いつの間にか桜の季節が終わり、新緑のまぶしい爽やかな季節へと移り変わっていました。登校時には、半そで姿の子どもたちも見られるようになりました。来週からは、5月になります。

さて、先日、柴副校長計画のもと、職員研修が行われました。(子どもたちが帰った後も、職員は研修等を行い、日々研鑽に励んでいます。)研修内容は「トークフォークダンス」。提案を受けたときは、職員の親睦を深めるためフォークダンスを踊るのかと思いましたが、よく聞いてみると「互いに知り合うこと」をねらいとし、フォークダンスのように相手を変え、お題に沿って自分のことを話し、相手の話も聞くという活動でした。流れは次のとおりです。

- ① ペアで簡単な自己紹介。
- ② お題に沿って、自分のことを相手に伝え、相手の話も聞くトークタイム。制限時間は1人1分。  
※お題は、様々。「好きな食べ物は?」「最近読んだ本は?」「芹が谷南のいいところは?」など。
- ③ 相手をチェンジして、自己紹介、別のお題でトークタイム。

自分のことを相手に知ってもらう、また相手のことを教えてもらうことは、思いのほか楽しく、ペアをチェンジしながら和気あいあいと研修会は進み、あっという間に時間が過ぎました。

「自分を知ってもらい、相手のことも知る。」とても簡単に思えることですが、この簡単に思えることこそ、関係を作っていく上での基本になることだと思います。日々の忙しさで、なかなかゆっくりと自分のことを話す、知ってもらう、また相手の話を聞く、相手のことを知る機会が減っている今、今回の研修は、私も含め職員にとって、とても有意義な時間となりました。研修で我々が得た、相手を知る喜び、自分のことを知ってもらう喜びを子どもたちが味わえるよう、そこからさらに、互いのよさを認め合える関係作りにつなげていけるよう努めていきたいと思えます。

子どもたちが笑顔で毎日を過ごすためには、子どもたちと一緒に過ごす職員も日々笑顔で過ごせることが大切です。職員の笑顔が子どもたちの笑顔につながっていくと考えます。職員の輪を大切に考え、研修を計画した副校長はじめ、研修に笑顔で参加した芹が谷南小学校職員一同、手前みそではありますが、子どもたちのためにできることは何かを考え、真摯に取り組むことのできる頼もしいメンバーです。今回は、職員の笑顔の活動についてお知らせいたしました。今後も、学校だより、学校 Web ページ等で子どもたちの笑顔につながる活動をお伝えしていきます。



正門横のツツジがきれいに咲いています